



田検小学校の「特色ある教育活動」は6つです。

- ① 朝のかけ足ーさわやかボランティア活動ー三旗掲揚 (8:15 校歌を流し、全校児童と職員が揃って掲揚。)
- ② 高まり合う授業づくり：学習態度、あいさつのよさを大事に育てながら、学力向上を目指しています。
- ③ 外国語活動 (H24 県研究公開)：どの学級でも行っています。
- ④ 学校給食 (H24 文科大臣表彰)：交流給食を年8回行っています。
- ⑤ 短歌 (全児童が月1首) と読書 (目標：低140中120高100)

そして、一番歴史の古いのが、⑥「カッター訓練」なのです。今年で何と31年目を迎えます。今回は「カッター訓練」のヒストリアです。

1 「カッター訓練」は、いつから始まったの？

昭和58年11月25日に、「県山坂達者『海洋型研究』指定校」になり、昭和59年2月18日には県教育委員会の浜里教育次長、同24日には県教委保健体育課長が本校の「海洋型山坂達者」事業の推進状況を視察に来られています。

そして、昭和59年3月19日には、カッター3隻、救助艇1隻が、名瀬市の藤野造船所から搬入されたという記録があります。

昭和59年5月30日、村教育委員会と田検小学校、田検中学校とが一緒になって「船艇(カッター)進水式」が行われています。

沿革史によれば、この進水式に合わせてカッターには「とどろき号 1・2・3」、救助艇には「はやぶさ号」と命名したようです。救助艇がいつごろ無くなったかは分かりませんが、カッター3隻は、当時の物を今も大事に使っています。

【5.1 訓練開始】



2 カッターは、いくらぐらいしたの？

記録を見つけました。

- カッター3隻が210万円 (1隻70万円)
- 救助艇1隻が50万円
- 付属品 (オール18本、水棹3本、救命胴衣24着、その他金具) 40万円

総額で300万円です。その内訳は、県からの補助が150万円、村からの補助が150万円だったようです。



3 これまでの活動は？

昭和60年10月18日、本校で「海洋型山坂達者の研究公開」を行っています。「参加者は70名、中学校も実技公開」という記録からして、田検小と田検中とが合同で開催したと思われます。

昭和63年6月8日、「本日より創意の時間を利用し海洋型学習に入る」という記録があります。

平成5年6月16日、「カッター訓練教室 講師前田重治さん」という記録もあります。カッター訓練からカッター教室という名に変わっていますが、平成7年7月1日には、再びカッター訓練となっています。平成8年の記録には、「カッター訓練 6/29, 7/2, 7/11」とあります。この頃は3日間海に出ていたと思われます。平成13年頃から海に出るのは2日間となり、今に至っています。

4 これからの活動は？

今年も4年生以上の子どもたちが「総合的な学習の時間(全10時間)」にカッター訓練を行います。実際に海に出て漕ぐのは2日間(5月13日、14日の午前中計6時間)ですが、事前のカッター清掃(5月1日)や陸の上での練習(5月8日)も、大事な訓練の一つです。オールを漕ぐ体力を付けるために、4月当初から朝のかけ足にこれまでも増して多くの時間をかけているようです。宇検村の大自然、焼内湾の大海原を舞台にして、仲間と協力すること、根気強くやり遂げること、体力と気力を付けること等、学ぶことは多いと思っています。

今年、5月18日の日曜参観の2～3校時に4～6年生は訓練の成果を披露し、1～3年生は初めてカッターの乗船体験をします。それに向けてPTAは、保護者の皆さんに呼びかけて「田検小PTAカッターCLUB」を募集中です。

田検小の伝統ある「カッター訓練」を保護者や校区の皆さんみんなで盛り上げていただきたいと思います。ちなみに「田検小PTAカッターCLUB」の練習日は、5月7日(水) 9日(金) 12日(月) 14日(水) 16日(金)、いずれも午後6時から7時、田検港で行います。

お父さんお母さん、誘い合わせてご参加ください。



【昨年の訓練風景】

(文責：福田裕生)